

2018年11月8日

NPO 法人犬と猫のためのライフポート  
2018年度上半期活動報告

いつも当団体活動をご支援くださり誠にありがとうございます。  
上半期の活動報告をさせていただきます。

<犬と猫の保護と譲渡について>

今年度は年間の譲渡目標を犬 500 頭、猫 800 頭としています。またそれらを実現するための目安として、譲渡までの滞在日数と死亡率、保健所からの受入数目標を立てています。

目標	受入数	譲渡数（うち成犬・成猫）	滞在日数	死亡率
犬	480 頭	500 頭（20 頭）	30 日以下	5%以下
猫	890 頭	800 頭（20 頭）	60 日以下	10%以下
合計	1,370 頭	1,300 頭		

犬	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
	上期	下期	合計	上期	下期	合計	上期	下期	目標
受入	267	290	557	214	246	460	307		480
譲渡	248	283	531	264	212	476	281		500
死亡	0	3	3	1	2	3	10		
死亡率	0%	1%	1%	0%	1%	1%	3%		5%以下
滞在日数			32 日			28 日	33 日		

受入・譲渡ともに目標を上回るペースで順調に活動することができました。また譲渡のうち 35 頭は少年犬・成犬で、こちらも順調です。一方で、ここ数年増えている、怖がりな犬の譲渡は進んでおらず今後数年の大きな課題になると思われます。

今後は、人慣れ訓練やしつけなどのソフト面と、居場所を増やすハード面の充実でより多くの子を助けるチャンスを増やしたいと考えています。

猫	2016 年度			2017 年度			2018 年度		
	上期	下期	合計	上期	下期	合計	上期	下期	目標
受入	517	137	654	638	184	822	598		890
譲渡	322	294	616	311	405	716	265		800
死亡	31	3	37	48	39	87	42		
死亡率			6%			11%	7%		
滞在日数			67 日			85 日	60 日		

今年も多数の子の受入を行ったものの例年よりも譲渡に苦戦しており、目標の達成は非常に厳しい状況です。今保護している 300 頭の猫たちに一日でも早く良いご縁があるように尽力いたします。

譲渡に苦戦しているのは様々な要因が考えられますが、大きな理由の一つは保護活動が普及したことで猫をもらえる場所が当団体以外にも増えたことです。

もちろんそのことはとても良いことですので、当団体もこの活動全体の底上げとなるよう、将来普及する次の活動モデルを模索しながら活動して参ります。

#### <成犬・成猫の譲渡促進について>

成犬の譲渡数は 35 頭（年間目標 20 頭）、成猫の譲渡数は 27 頭（年間目標 20 頭）と早々に達成することができました。今後はより難しい怖がりの犬たちの譲渡にも取り組んでまいります。

#### <犬のマイクロチップ全頭導入について>

計画通りマイクロチップ導入を進めており、脱走事故後にマイクロチップの効果で早々に家に帰れた事例もありました。もちろん事故を起こさないのが一番ですが、今後は飼育管理の標準として実施して参ります。

#### <外来不妊手術について>

年度目標は 130 件の外来不妊手術を実施することですが、達成ペースの 81 頭を実施することができました。引き続き地域で活動する方の力になれるように実施いたします。

#### <施設の増改築と環境改善について>

前年度の猫の飼育スペースの拡充に続き、今年度は主に犬の環境改善を進めてきました。よりよい環境で犬と面会できるよう、何より犬たちが快適に暮らせるよう進めています。

#### **<幹部職員の募集について>**

今年度一名を採用し活躍してもらっています。私たちとしても初の試みであり、幹部として本格的に活躍するのはまだ先になりますが、モチベーションのある人材を積極的に活用していきたいと考えています。

#### **<人員の確保と現場組織の改変について>**

現場組織の改変は定着し一定のスタイルが完成しつつあります。また今年度は法令の再チェックを行い、行政の指導も受けてスタッフの待遇を改善を行いました。まだまだボランティアというイメージの強いこの活動ですが、創業以来の理念の一つである「仕事として責任を持ってあたることで結果を出す」ことをしっかりと行って参ります。

#### **<ボランティアの活用について>**

例年通り多くのミルクボランティアさんにご協力いただき、赤ちゃん犬猫を助けるチャンスを増やすことができました。一方で成犬のお世話関係のボランティアは咬傷事故などのリスクを十分に減らすことができないと判断したため実施にいたっていません。引き続きよりよいかたちを模索いたします。

#### **<その他の活動について>**

事業目標に織り込んだその他の計画である、コンテンツの充実、ペット保険代理業、新規事業開拓については一步一步進めているものの、具体的なご報告が出来る段階までには至っていません。引き続き推し進めて参ります。

#### **<熱中症による犬の死亡事故のご報告>**

7月17日 14時から16時にかけて、犬12頭の居た部屋のエアコンが何らかの原因で停止したため室温が上昇し、全頭が熱中症にかかってしまう事故がありました。

発見直後から獣医師・看護師・スタッフ総出で治療にあたりましたが、残念ながら9頭が亡くなりました。3頭はその後回復し元気になりました。

原因究明と再発防止のため、スタッフへの聞き取り調査を行いました。人為的ミスの可能性は低いと判断しました。あわせて電気設備の点検を行ったところ、因果関係は不明ですが設備にいくつかの疲弊が発見されたため改修工事を実施しました。また同様の事故を防ぐために温度管理システムを導入します。

亡くなった子たちはスタッフやボランティアさんによく懐いていて、思い入れのある子たちばかりでした。ホームページでも紹介しておりましたので気にして下さる方も沢山いたかと思います。

当団体のような施設では、人の手が及ばない感染症や先天的な疾患などで亡くなってしまう子がいます。しかし、今回は設備の問題ですので原因が何であれ防ぎ得たはずだと非常に悔しく、亡くなった犬たちにはもちろん、活動を応援して下さる皆様に心よりお詫び申し上げます。また事故直後から犬たちやスタッフに温かいお言葉をかけてくださった皆様にお礼申し上げます。

これからも尽力いたしますので皆様のご支援ご声援をよろしく願いいたします。

NPO 法人犬と猫のためのライフポート  
理事長 稲葉友治